

校園長名

奥村 富三

記入者名

池田 憲二

項	教育目標	重点目標 (努力目標)	具体的な取組	取組状況・成果・課題	学校関係者からいただいた 評価・意見等	改善策 左欄(学校関係者からいただいた評価・意見 等)を踏まえての改善策には、 <u>下線</u>
心豊かに 神戸の子供を育む	ともに学び ともに伸びる 向洋っ子	ともに学ぶ (知)	特別支援の知見を生かした指導の工夫	授業研究の中心に特別支援の知見を据えて、授業公開・研修を行った。		外部講師と連携し、教職員の児童理解を深めていく力を付ける場を今後も設定する。
			ICTを活用した指導	ICTを活用した授業研究グループをつくり、授業公開・研修を行った。	児童用パソコンが全員に配布され、それを使いこなしている姿に隔世の感がある。	SKYMENYUなど有効なソフトを活用し、職員全体のスキルを上げていきたい。
			じぶん学習の充実	各学年における取組を評価し合った。指導主事を招き、研修を行った。	自ら学ぶ力を身につけてほしい。	意欲の低い児童にも興味関心をもって取り組める内容を広めていきたい。
		ともにつながる (徳)	あいさつ運動の推進	朝の正門でのあいさつ運動や、校舎内でのあいさつを推進した。	あいさつは少しずつ定着しつつある。	年間を通して挨拶指導と評価を行っていく。
			異学年交流	コロナが比較的落ち着いた2学期以降に、ペア学年での活動を増やした。	コロナ禍での活動は難しいが、今後も縦割り活動が重要になってくる。	感染予防対策を行いながら、児童の人間関係調整力を高める取組を学校全体で実施する。
			係・当番活動の充実	委員会活動も含め、学校の仕事にやりがいをもたせる活動を行った。	社会に貢献する勤労意欲を高めてほしい。	「勤労」に関する教育活動を年間学習指導計画に取り入れることで、児童の勤労意識を磨いていく。
		ともに挑戦する (体)	体幹を鍛える	朝の時間に毎日行う体幹を鍛えるポーズの取り組みを1年間続けた。	体力を鍛える活動に取り組んでほしい。	継続して体力測定をすることで、体力向上に関する取組の成果を具体的に把握する。
			体力の向上	児童が自ら考えて提案する活動を取り入れた。50m計測や鉄棒、学級ごとの縄跳びタイムなど休み時間を活用して取り組んだ。	学校の実情に応じた取組を継続して行っていくことが大切である。	感染予防対策を行った上で、年間通じて取り組める内容を実施していく。
	自ら学び、考える児童の育成を目指して	教科書を生かした、考え・議論する道徳教育の実現	授業で文章の趣旨や話し手の意図を考えて自分の考えをまとめる活動を取り入れた。	学校教育は、授業が根幹である。今後も魅力ある授業を続けてほしい。	道徳の授業づくりの経験を生かして、他の教科の授業づくりにも力を入れていく。	
安全・地域・安心で共に楽しい学校を築き、	児童の読む力・書く力を育む教育活動の充実	学校司書教諭と連携して、並行読書を行った。テーマに沿って読解力向上を目指した。	活字に親しむ活動を通して、「読む」「書く」「考える」力を伸ばしていったほしい。	自ら本と親しんだ経験を他者にも伝えていく活動をさらに推し進めていきたい。		
	一人一授業の実践	メンター制度を取り入れ、小グループでの研修を進めた。学級経営から授業づくりまで、すぐに相談・研修ができるようにした。	今後も研鑽を積んでいただき、児童の学力保障をしていただきたい。	来年度も引き続き、メンター制度を採用入れ、若手教員の力量を図るとともに相談できる体制を行う。		
	いじめ防止基本方針に基づくいじめ防止対策に関する取組(いじめ問題対策委員会)	様々な事案に対して、情報共有を行い、複数で指導することで素早い対応ができた。	学力保障だけでなく、児童の人間関係にも配慮をいただき、たいへんありがたく思う。	いじめの早期発見や初期対応のあり方を共通理解し、未然防止のための情報共有を徹底する。		
	超過勤務時間の削減・効果的な有給休暇の取得	業務改善委員会から積極的に環境を見直した。会議の短縮・削減を行い、時間を生み出すことができた。	多種多様にわたる業務があると思うが、無理のない範囲で職務に専念していただきたい。	業務削減だけでなく、働き甲斐を見出すような職場の空気を生み出し、より質の高い職場環境にする。		
	新型コロナウイルス感染症関連	毎朝の体温チェックシートの確認や週末のトイレや共用部の消毒作業を行った。	子供たちや教職員の感染症拡大が心配である。また教職員が感染対策による業務の肥大化で疲れがでないかも心配である。	手洗いとうがい、換気など常に意識し指導を徹底する。また、来年度も保護者会の力をお借りして消毒作業を進めたい。		
	「すぐ-る」の活用、ホームページにおける情報発信	感染症による様々な変更について、すぐ-るやホームページ等で迅速に知らせていくことに努めた。	すぐ-るやホームページによる情報発信は、たいへん有効であるので、工夫のある内容を期待している。	すぐ-るとホームページを活用して、タイムリーな話題とスピーディーな情報発信を今後も目指していく。		
	登下校時の見守り運動(保護者会・青少協等)	保護者会が中心となり、学級学年ごとに見回りの協力を進めていただいた。Webでの回答方式を取り入れ、誰でも参加しやすい形式を取り入れていただいた。	児童の様子で気になったことについては学校に定期的に連絡・情報共有したい。	登下校の様子で気になることについては、状況を素早く分析し、事故防止の指導を行う。		
学校生活のルールや決まり(校則など)について	職員会議を通して、学校のルールについて話し合いを設けた。					